

機動建設 日本建設を子会社化

機動建設工業は、民間建築主体の日本建設（本社・大阪市、日野直行代表）の株式を取得し、連結子会社化する。ゴールドマン・サックス・グループなどが出資する「日本エンデバーファンド（NEF）」が所有する

株式を17日に譲り受け、機動建設工業から取り、基本的には日本建設の経営方針や体制を尊重する。

機動建設工業グループは、売り上げ1000億円体制の構築をめざして

いる。機動建設工業グループと日本建設の売上高を合計すると売り上げ規模は500億円弱となり、目標達成に向けて「大きく前進する」（同社）。推進工事など土木主体の機動建設工業に、民間建築中心の日本建設を加えることで、土木と建築両面からの総合的なサービスの提供を可能に

する。

NEFは、GSグループや大和証券SMBCグループと三井住友銀行の協同事業として立ち上げた企業再生ファンド。NEFが所有する株式を譲り受けると、機動建設工業が所有する株式の比率は99・2%に達する。